



セタカムイ

《学校教育目標》 考える つながる 挑戦する —互いを承認し合い、自ら行動できる生徒—

古平中学校だより 第3号

令和8年6月26日

TEL 42-2557

FIFA ワールドカップと「思いやりの心」

校長 津田 和 翁

サッカーFIFAワールドカップ2026が始まりました。日本代表は予選リーグ初戦のオランダ戦で、白熱する攻防の結果、2対2の引き分けという、勝ち点1以上の素晴らしい試合を見せられました。

試合後、私はテレビで日本のサポーターがスタジアムのごみ拾いをしている様子を見ました。青いごみ袋を手に、観客席に残された紙コップやごみを拾う姿です。以前も見たことのあるこの光景は、今大会でも世界中のニュースで取り上げられ、多くの人から称賛されていました。

一方で、アメリカの報道の中には、「ごみ拾いは雇われた清掃員の仕事を奪うことになるのではないか」という意見もあるそうです。国や文化が違えば、物事の受け止め方もさまざまだと改めて感じます。

それでも、試合の勝ち負けに関係なく、「来たときよりも美しく」自分たちが使った場所をきれいにして帰る日本のサポーターの善行には、世界の多くの人々が感動しています。このような行動の背景には、日本で長く大切にされてきた道徳教育や、人を思いやる心があるのではないのでしょうか。

私が子どもの頃、50年以上前のお阪の街は、今ほどきれいではありませんでした。空は灰色がかり、川には汚れが目立ち、道にはたばこの吸い殻などが落ちていました。当時、小学校の先生から「ヨーロッパの街はとてもきれいです。日本も見習わなければなりません」と教えられたことを今でも覚えています。

それから半世紀が過ぎ、ふるさとを訪れると、かつて育った街は見違えるほどきれいになりました。澄んだ川には魚が泳ぎ、道にもごみはほとんど見当たりません。この変化には多くの人々の努力がありますが、その土台には学校教育の積み重ねもあったのではないかと思います。

古代中国の書物『中庸』には、「智・仁・勇の三つは、人として大切な徳である」という言葉があります。また、明治時代には、19世紀のイギリスの思想家ハーバート・スペンサーの教育論が日本に紹介され、「知的教育」「道徳教育」「体育教育」の大切さが広く受け入れられました。これらが融合し現在の学校教育でいわれる「生きる力」を支える「知・徳・体」の考え方に繋がっています。

ワールドカップという世界的な舞台で、日本のサポーターの行動が評価されている姿を見ると、日本の文化や価値観が世界に伝わっていることを感じます。そして、そのような心を育む教育に携われることを大変うれしく思います。

誰も見ていなくても正しいと信じることをする。勝っても負けても相手や周りの人に敬意を払う。そのような姿勢を、生徒たちとともに大切にしていきたいと思う今日この頃です。

日頃の成果を発揮する！～陸上競技記録会

6月1日に陸上競技記録会を実施しました。今年度は、5月29日に開催を予定していましたが、天候やグラウンドコンディションの不良により、予備日である6月1日に延期して実施しました。

晴天の中で迎えた記録会当日、生徒たちは走り幅跳びや走り高跳びなどのフィールド種目、1500m走や800m走などのトラック種目を中心に、それぞれの記録更新に挑みました。

また、今年度は生徒数の減少に伴い、これまで男女別に実施していた学年対抗リレーを体育の授業内で記録を測定する形に変更し、当日は各学年男女2名ずつによる混合リレーを実施しました。

リレーでは、3年生と2年生が接戦を繰り広げましたが、最後は3年生が逃げ切り、初優勝を果たしました。

今年度も、自己ベストや校内記録の更新を目指して全力で競技に取り組む古中生の姿に、応援に駆け付けた保護者の皆様から大きな声援が送られていました。

ご多用の中、ご来校いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。温かいご声援をありがとうございました。



地域とのつながり、学びを深める！～ふるびらブルーマルシェ

6月7日に150年広場で開催された「ふるびらブルーマルシェ」に、本校吹奏楽部が参加し、演奏を披露しました。

吹奏楽ステージでは、「RPG」と「青と夏」を演奏し、会場を訪れた多くの方々に音楽の楽しさを届けました。演奏後には会場から温かい拍手が送られ、コンクールを控えた生徒たちにとって大きな励みとなりました。

また、今年度は実行委員会の企画として、本校有志生徒による「Furubira Innovation Lab」を実施しました。経営体験や郷土愛の醸成を目的に、生徒たちは企画段階から準備、当日の運営まで主体的に参加し、「たらこフラン」の販売を行いました。

今回のブルーマルシェは、吹奏楽部にとって発表の成果を披露する場であるとともに、有志生徒にとっては地域の方々と関わりながら実践的な学びを深める機会となりました。地域とのつながりを実感しながら学ぶことのできる、貴重な学習の場となった一日でした。

今後もこうした活動を通して、ふるさとへの理解や愛着を深めるとともに、自ら考え行動する力を育てていくことを期待しています。



古中生の頑張りを発信する！～教育委員会学校訪問

6月23日に、古平町教育委員会による学校訪問が行われました。今回は、教育委員、学校運営協議会委員、教育委員会職員の皆様合わせて12名が来校し、全学年の授業を参観されました。

授業見学後には、校長から学校経営や生徒の様子、教育活動の取組について説明を行い、本校の教育活動への理解を深めていただく機会となりました。

授業に集中して取り組んでいる古中生の姿に、参観された委員の方から、「中学生、頑張っていますね」とお褒めの言葉をいただきました。



中体連大会結果報告①！～各種大会での活躍

【水泳】 男子背泳ぎ100m 第1位 ・ 男子バタフライ100m 第1位 ○○○○さん

7月24～26日に函館市で開催される全道中学校水泳大会に出場決定！ おめでとうございます！